

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年7月29日から2021年7月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、米国の小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ニューバーガー・パーマン・USスモール・キャップ・ファンド（JPYインスティテューショナル・ディストリビューティング・クラス） 米国に本社を有するか事業展開を行っている企業で、米国で上場あるいは取引されている小型株 マネーインカム・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■米国の小型株を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■高い参入障壁を有し、持続的な成長が期待できるハイクオリティ企業を徹底的なボトム・アップ・リサーチによって選択し、運用を行います。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年7月24日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

# 米国の小型ハイクオリティ ファンド(資産成長型)

## 【運用報告書(全体版)】

(2019年7月25日から2020年7月27日まで)

第 9 期

決算日 2020年7月27日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、米国の小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ラッセル2000インデックス		債券組入率 比	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	(配当込み、 円ベース)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期 (2016年7月25日)	20,342	0	△12.2	222.32	△15.2	0.0	97.0	875
6期 (2017年7月24日)	24,289	0	19.4	279.07	25.5	0.0	96.6	2,441
7期 (2018年7月24日)	28,246	0	16.3	335.13	20.1	0.0	97.8	1,505
8期 (2019年7月24日)	28,609	0	1.3	302.01	△9.9	0.0	96.7	1,458
9期 (2020年7月27日)	29,929	0	4.6	283.21	△6.2	0.0	97.0	1,336

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※ラッセル2000インデックス（配当込み、円ベース）は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2020年7月27日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※ラッセル2000インデックス（配当込み）の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) ラッセル2000インデックス		債券組入率 比	投資信託証券 組入比率
	騰落率	(配当込み、 円ベース)	騰落率			
(期首) 2019年7月24日	円	%		%	%	%
	28,609	—	302.01	—	0.0	96.7
7月末	29,453	3.0	309.50	2.5	0.0	96.1
8月末	27,824	△2.7	286.60	△5.1	0.0	96.7
9月末	28,095	△1.8	296.34	△1.9	0.0	98.1
10月末	29,101	1.7	308.80	2.2	0.0	97.4
11月末	30,030	5.0	323.20	7.0	0.0	97.5
12月末	30,281	5.8	330.68	9.5	0.0	89.8
2020年1月末	30,295	5.9	324.19	7.3	0.0	97.1
2月末	28,296	△1.1	298.50	△1.2	0.0	97.0
3月末	23,846	△16.6	227.35	△24.7	0.0	97.3
4月末	26,759	△6.5	263.59	△12.7	0.0	96.7
5月末	28,586	△0.1	274.28	△9.2	0.0	97.3
6月末	28,643	0.1	278.95	△7.6	0.0	98.1
(期末) 2020年7月27日	29,929	4.6	283.21	△6.2	0.0	97.0

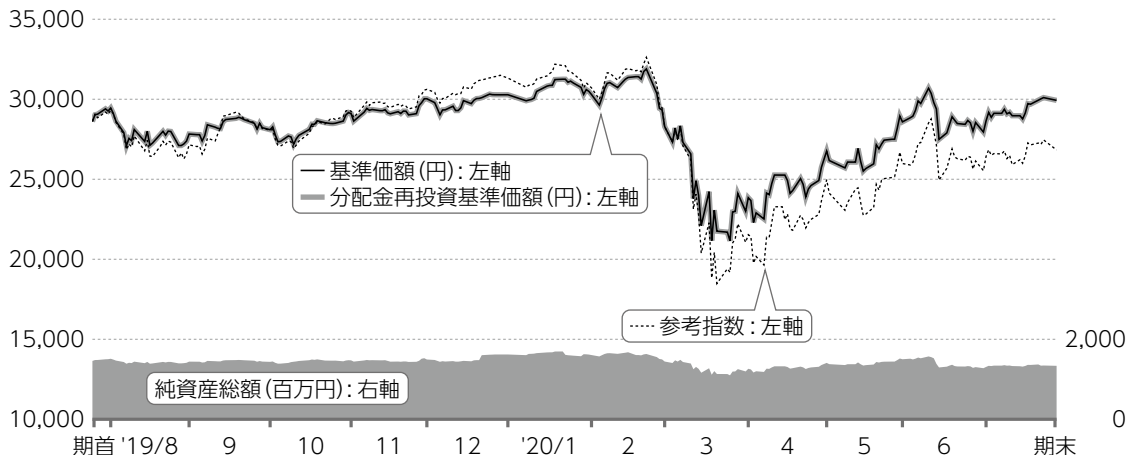
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	28,609円
期末	29,929円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+4.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、ラッセル2000インデックス(配当込み、円ベース)です。

※ラッセル2000インデックス(配当込み)の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### 基準価額の主な変動要因（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米国の小型株等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- 期初から2020年2月中旬にかけて、米中貿易協議の進展などを背景に株式市場が上昇したこと
- 3月下旬以降、F R B（米連邦準備制度理事会）の金融緩和策の実施を受け、株式市場が上昇したこと

#### 下落要因

- 2月下旬から3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大による景気の悪化や企業業績への懸念を背景に、株式市場が下落したこと
- 期を通じてみると、米ドル安・円高となったこと

### 組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
ニューバーガー・バーマン・US スモール・キャップ・ ファンド（J P Y インスティテューショナル・ ディストリビューティング・クラス）	外国株式	97.0%
マネーインカム・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

当期の米国株式市場は大型株が上昇しましたが、小型株は下落しました。為替市場は円高・米ドル安となりました。

## 米国株式市場

当期の米国株式市場は、変動性が高い展開となりました。ラッセル2000インデックス(小型株)が下落した一方、S & P 500種株価指数(大型株)は上昇しました。

期初から2020年2月中旬にかけて、米中貿易協議において進展がみられ、「第一弾の合意」に達したことなどが好感され、株式市場が堅調に推移しました。その後、株式市場は上下に大きく変動しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響による景気悪化を受け、景気感受性の高いエネルギー企業や小売り関連企業の破綻が相次ぐなど、企業業績に対する懸念が強まったことで株式市場は3月中旬にかけて大きく下落しました。

3月下旬以降は、期末まで上昇基調で推移しました。FRB(米連邦準備制度理事会)が積極的な金融緩和措置を講じたことや、複数の製薬企業が開発を急いでいる新型コロナウイルスの抗ウイルス薬の臨床試験において、良好な結果が得られたことが追い風となりました。こうした中、大型株式市場が小型株式市場をアウトパフォームしま

した。

当期の市場の動きをラッセル2000インデックス(配当込み、米ドルベース)で見ると、期首に比べて4.2%下落しました。一方、S & P 500インデックス(配当込、米ドルベース)は9.1%上昇しました。

## 為替市場

当期の円・米ドルの為替市場は上下に大きく変動しながら推移し、期を通してみれば、米ドル安・円高となりました。米中貿易協議の進展などを受け、期初から2020年2月中旬にかけては米ドル高・円安が進行しました。2月下旬以降は米ドル安・円高が進行する動きとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた景気の悪化から投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とみられる日本円への投資需要が高まったことが背景と考えます。

米ドル・円は期首108円21銭から期末105円82銭と2円39銭の米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

## 当ファンド

期を通じて、「ニューバーガー・バーマン・US スモール・キャップ・ファンド（JPY インスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス）」を高位に組み入れました。

## ニューバーガー・バーマン・US スモール・キャップ・ファンド （JPY インスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス）

当期の投資行動では、大恐慌以来といわれる景気悪化を受けて、景気敏感性の高いエネルギー、金融のウェイトを引き下げました。具体的には、エネルギー価格低迷の影響を強く受けるマタドール・リソースズ（エネルギー）やセンテニアル・リソース・デベロップメント（エネルギー）、利鞘縮小や貸し倒れの増加が懸念される地域金融機関バンクOZK（金融）やパックウェスト・バンコープ（金融）などを売却しました。

一方で、多くの地域で社会的距離（ソーシャル・ディスタンス）拡大戦略が維持される中、恩恵を受け易い情報技術のウェイトを引き上げました。具体的には、サプライチェーン（供給網）管理ソフトウェアを提供するSPSコマース（情報技術）などです。

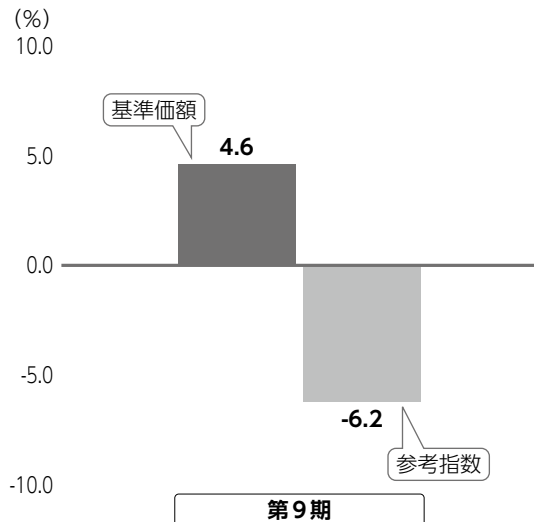
## マネーインカム・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

ベンチマークとの差異について（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてラッセル2000インデックス（配当込み、円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第9期
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（—%）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,929

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため見送りいたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「ニューバーガー・バーマン・US スモール・キャップ・ファンド(JPY インスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス)」を高位に組み入れて運用を行います。

### ニューバーガー・バーマン・US スモール・キャップ・ファンド (JPY インスティチュショナル・ディストリビューティング・クラス)

足もとでは、新型コロナウイルスの感染再拡大が警戒されながらも、企業業績が最悪期を脱したとの期待感が株式市場を下支えています。グローバル経済の回復やワクチン開発への期待が投資家心理を下支えており、それを後押しする各国中央銀行による流動性供給にも力強いものがあります。一方で、当面は感染の再拡大を防ぐため社会的距離の確保が求められるなど、景気回復の足取りが予想以上に重くなる可能

性があるといえます。しかしながら、多くの国や地域で「ウィズ・コロナ」のビジネスや生活様式が定着しつつあり、世界経済や株式市場の底割れは回避される可能性が高いと考えています。

こうした中、当ファンドが注目するクオリティの高い企業は外部環境に依存しない成長が可能であり、相対的に強みを発揮し易い状況と考えます。引き続き、ニッチな市場で競争優位性が高く、収益性や財務健全性に優れたクオリティが高い小型企業に投資する方針を維持します。

### マネーインカム・マザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

(2020年7月30日現在)

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 （投 信 会 社） （販 売 会 社） （受 託 会 社）	344円 （ 82） （252） （ 9）	1.209% （0.288） （0.887） （0.033）	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監 査 費 用） （そ の 他）	3 （ 2） （ 0）	0.009 （0.008） （0.001）	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	347	1.218	

期中の平均基準価額は28,434円です。

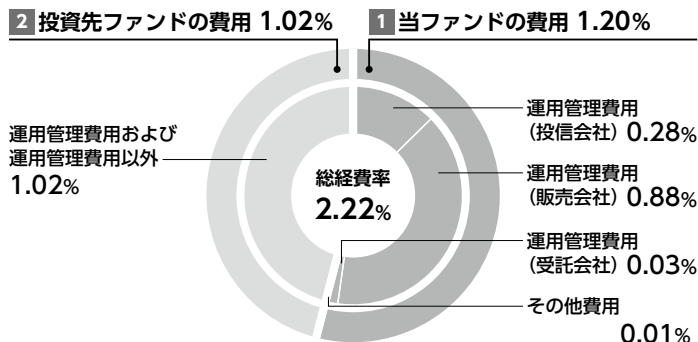
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「損益計算書」をご覧ください。

### 参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率（1 + 2）	2.22%
1 当ファンドの費用の比率	1.20%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.02%

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

※1の各費用は、掲掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.22%です。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

#### 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド (JPYインスティテューショナル・ディストリビューティング・クラス)	157,831,903	489,400	216,450,457	692,300
	合 計	157,831,903	489,400	216,450,457	692,300

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2019年7月25日から2020年7月27日まで）

#### 利害関係人との取引状況

##### 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### マネーインカム・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 2,168	百万円 100	% 4.6	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年7月25日から2020年7月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2020年7月27日現在）

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ   ン   ド   名	期首(前期末)	期		末
	口   数	口   数	評   価   額	組   入   比   率
	口	口	千円	%
ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド (JPYインスティテュショナル・ディストリビューティング・クラス)	443,764,883	385,146,329	1,296,518	97.0
合   計	443,764,883	385,146,329	1,296,518	97.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託残高

種   類	期首(前期末)	期		末
	口   数	口   数	評   価   額	評   価   額
	千口	千口	千円	千円
マネーインカム・マザーファンド	297	297	300	300

※マネーインカム・マザーファンドの期末の受益権総口数は2,616,045千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2020年7月27日現在)

項   目	期	末
	評   価   額	比   率
	千円	%
投   資   証   券	1,296,518	94.1
マネーインカム・マザーファンド	300	0.0
コ   ー   ル   ・   ロ   ー   ン   等   、   そ   の   他	81,644	5.9
投   資   信   託   財   産   総   額	1,378,462	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月27日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>1, 378, 462, 323円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	81, 644, 146
投 資 証 券 (評価額)	1, 296, 518, 087
マ ネ ー イ ン カ ム ・ マ ザ ー フ ァ ン ド (評価額)	300, 090
<b>(B) 負 債</b>	<b>42, 250, 936</b>
未 払 解 約 金	33, 763, 910
未 払 信 託 報 酬	8, 431, 956
未 払 利 息	179
そ の 他 未 払 費 用	54, 891
<b>(C) 純 資 産 総 額 (A - B)</b>	<b>1, 336, 211, 387</b>
元 本	446, 453, 637
次 期 繰 越 損 益 金	889, 757, 750
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>446, 453, 637口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	<b>29, 929円</b>

※当期における期首元本額509,958,629円、期中追加設定元本額196,044,337円、期中一部解約元本額259,549,329円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

### ■ 損益の状況

(自2019年7月25日 至2020年7月27日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>△ 24, 712円</b>
支 払 利 息	△ 24, 712
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>72, 402, 630</b>
売 買 益	122, 484, 308
売 買 損	△ 50, 081, 678
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 17, 469, 258</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)</b>	<b>54, 908, 660</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>111, 528, 292</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>723, 320, 798</b>
(配 当 等 相 当 額)	( 379, 790, 978)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 343, 529, 820)
<b>(G) 計 (D + E + F)</b>	<b>889, 757, 750</b>
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	<b>0</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)</b>	<b>889, 757, 750</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	723, 320, 798
(配 当 等 相 当 額)	( 379, 791, 011)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 343, 529, 787)
分 配 準 備 積 立 金	166, 459, 761
繰 越 損 益 金	△ 22, 809

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（54,917,959円）、信託約款に規定される収益調整金（723,297,989円）および分配準備積立金（111,541,802円）より分配可能額は889,757,750円（1万口当たり19,929円）ですが、分配は行っておりません。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド (JPYインスティテューショナル・ディストリビューティング・クラス)
形態	アイルランド籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	米国に本社を有するか事業展開を行っている企業で、米国で上場あるいは取引されている小型株。
運用の基本方針	米国の小型株を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
ベンチマーク	ラッセル2000インデックス（配当込み）
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に、取得時に時価総額が30億米ドル以下の株式等に投資します。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は行いません。</li> </ul>
決算日	毎年12月31日
分配方針	年4回（3月、6月、9月、12月の最終日、休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	純資産総額に対して年0.85%* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	ファンドの管理費用、保管費用、設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・ヨーロッパ・リミテッド
副投資運用会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド（JPYインスティテューショナル・ディストリビューティング・クラス）」をシェアクラスとして含む「ニューバーガー・バーマン・USスモール・キャップ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 損益計算書（2019年1月1日から2019年12月31日まで）

	(米ドル)
収益	
受取利息	81,116
受取配当金	4,094,566
雑収入	114,878
損益を通じて公正価値評価される金融資産および負債に係る純利益	96,287,475
	100,578,035
費用	
管理報酬	3,834,405
販売報酬	560,535
事務代行報酬	508,892
コミットメント・フィー	48,666
カストディアン・フィー	9,285
保管報酬	37,759
専門家報酬	69,489
役員報酬	4,563
取引費用	175,541
監査報酬	18,384
付加価値税還付	(6,228)
その他費用	20,054
費用合計	5,281,345
金融費用	
支払利息	8,214
	8,214
源泉徴収税	1,178,444
	1,178,444
償還可能参加型持分の保有者に帰属する投資による利益	94,110,032

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

### ■ 投資明細表（2019年12月31日現在）

損益を通じて公正価値評価される金融資産

株数	内訳	公正価値 米ドル	純資産 比率(%)
株式 98.98%（2018年12月31日付：98.67%）			
	英ポンド		
83,860	Abcam Plc	1,501,984	0.36
	英ポンド合計	1,501,984	0.36
	米ドル		
83,570	AAON Inc	4,129,194	1.00
16,065	Allegiant Travel Co Class A	2,795,953	0.67
59,255	Altair Engineering Inc Class A	2,127,847	0.51
45,695	AMERISAFE Inc	3,017,241	0.73
45,805	Apergy Corp	1,547,293	0.37
18,170	Applied Industrial Technologies Inc	1,211,757	0.29
43,455	AptarGroup Inc	5,024,267	1.21
42,665	Artisan Partners Asset Management Inc Class A	1,378,933	0.33
30,500	Asbury Automotive Group Inc	3,409,595	0.82
78,910	Aspen Technology Inc	9,542,586	2.30
33,569	Astronics Corp	938,254	0.23
4,913	Atrion Corp	3,692,119	0.89
67,175	Bank of Hawaii Corp	6,392,373	1.54
89,535	Bank OZK	2,731,265	0.66
37,730	Bio-Techne Corp	8,282,112	2.00
38,305	BOK Financial Corp	3,347,857	0.81
36,560	Bright Horizons Family Solutions Inc	5,494,602	1.32
3,240	Cable One Inc	4,822,643	1.16
46,360	Cabot Microelectronics Corp	6,690,675	1.61
52,435	Cactus Inc Class A	1,799,569	0.43
3,365	Calavo Growers Inc	304,835	0.07
53,580	Cantel Medical Corp	3,798,822	0.92
20,667	Chase Corp	2,448,626	0.59
18,535	Chemed Corp	8,141,684	1.96
65,335	Church & Dwight Co Inc	4,595,664	1.11
80,665	Cognex Corp	4,520,467	1.09
98,145	Columbia Banking System Inc	3,993,029	0.96
63,890	Community Bank System Inc	4,532,357	1.09
8,920	Computer Services Inc	396,940	0.10
42,060	Cullen/Frost Bankers Inc	4,112,627	0.99
193,480	CVB Financial Corp	4,175,298	1.01

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

株数	内訳	公正価値 米ドル	純資産 比率(%)
38,750	Eagle Materials Inc	3,513,075	0.85
67,465	Emergent BioSolutions Inc	3,639,737	0.88
98,215	Exponent Inc	6,777,817	1.63
9,160	FactSet Research Systems Inc	2,457,628	0.59
26,205	Fair Isaac Corp	9,818,489	2.37
132,680	First Financial Bankshares Inc	4,657,068	1.12
175,965	First Hawaiian Inc	5,076,590	1.22
44,410	FirstService Corp	4,131,906	1.00
51,240	Floor & Decor Holdings Inc Class A	2,603,504	0.63
31,160	Forward Air Corp	2,179,642	0.53
85,390	Fox Factory Holding Corp	5,940,582	1.43
73,655	Glacier Bancorp Inc	3,387,393	0.82
60,850	Graco Inc	3,164,200	0.76
89,945	Gray Television Inc	1,928,421	0.46
40,190	Grocery Outlet Holding Corp	1,304,165	0.31
66,857	Haemonetics Corp	7,681,869	1.85
24,540	Hamilton Lane Inc Class A	1,462,584	0.35
14,235	Heska Corp	1,365,706	0.33
42,655	Houlihan Lokey Inc Class A	2,084,550	0.50
47,230	IAA Inc	2,222,644	0.54
17,525	ICON Plc	3,018,331	0.73
20,725	IDEXX Laboratories Inc	5,411,919	1.30
24,920	Ingevity Corp	2,177,510	0.52
14,065	J&J Snack Foods Corp	2,591,758	0.62
33,119	Jack Henry & Associates Inc	4,824,445	1.16
11,185	Kadant Inc	1,178,228	0.28
29,860	Lakeland Financial Corp	1,461,050	0.35
21,180	Lancaster Colony Corp	3,390,918	0.82
38,345	LCI Industries	4,107,900	0.99
16,110	Lindsay Corp	1,546,399	0.37
19,280	Lithia Motors Inc Class A	2,834,160	0.68
31,005	Littelfuse Inc	5,931,256	1.43
103,500	Manhattan Associates Inc	8,254,125	1.99
20,505	MarketAxess Holdings Inc	7,773,651	1.87
127,115	Matador Resources Co	2,284,257	0.55
2,500	MGP Ingredients Inc	121,125	0.03
25,780	Middleby Corp	2,823,426	0.68
36,080	MKS Instruments Inc	3,969,161	0.96
43,560	Model N Inc	1,527,649	0.37
35,020	Monro Inc	2,738,564	0.66
41,840	MSA Safety Inc	5,286,902	1.27



## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

株数	内訳	公正価値 米ドル	純資産 比率(%)
30,680	National Research Corp	2,023,039	0.49
29,183	Neogen Corp	1,904,483	0.46
173,085	NetScout Systems Inc	4,166,156	1.00
4,260	NewMarket Corp	2,072,575	0.50
58,235	Nexstar Media Group Inc Class A	6,828,054	1.65
24,270	Nordson Corp	3,952,127	0.95
55,205	Novanta Inc	4,882,330	1.18
25,135	Ollie's Bargain Outlet Holdings Inc	1,641,567	0.40
142,935	Pason Systems Inc	1,446,974	0.35
50,970	Pool Corp	10,825,009	2.61
74,735	Power Integrations Inc	7,392,039	1.78
39,673	Prosperity Bancshares Inc	2,852,092	0.69
21,310	Quaker Chemical Corp	3,505,921	0.84
68,935	Qualys Inc	5,747,111	1.38
40,325	Raven Industries Inc	1,389,599	0.34
37,550	RBC Bearings Inc	5,945,667	1.43
67,660	Richelieu Hardware Ltd	1,415,551	0.34
48,635	RLI Corp	4,378,123	1.06
48,115	Rogers Corp	6,001,384	1.45
121,656	Rollins Inc	4,034,113	0.97
27,645	Simulations Plus Inc	803,640	0.19
23,855	SiteOne Landscape Supply Inc	2,162,456	0.52
49,435	Stella-Jones Inc	1,430,346	0.34
24,060	Tetra Tech Inc	2,073,010	0.50
60,315	Texas Roadhouse Inc Class A	3,396,941	0.82
76,940	Toro Co	6,129,810	1.48
20,030	Tractor Supply Co	1,871,603	0.45
26,707	Tyler Technologies Inc	8,012,634	1.93
11,345	UniFirst Corp	2,291,463	0.55
19,930	US Physical Therapy Inc	2,278,996	0.55
24,185	Valmont Industries Inc	3,622,429	0.87
17,270	Watsco Inc	3,111,191	0.75
27,585	WD-40 Co	5,355,352	1.29
60,985	West Pharmaceutical Services Inc	9,167,875	2.21
188,630	WPX Energy Inc	2,591,776	0.62
17,996	Zebra Technologies Corp Class A	4,596,898	1.11
	米ドル合計	409,347,122	98.62
	株式合計	410,849,106	98.98
	投資合計	410,849,106	98.98

## 米国小型ハイクオリティファンド（資産成長型）

為替先渡契約 0.08%（2018年12月31日付：0.19%）

	未実現利益 米ドル	純資産 比率(%)
為替先渡契約に係る未実現利益合計	340,665	0.08
	公正価値 米ドル	純資産 比率(%)
損益を通じて公正価値評価される金融資産合計	411,189,771	99.06

為替先渡契約（0.03%）（2018年12月31日付：（0.06%））

	未実現損失 米ドル	純資産 比率(%)
為替先渡契約に係る未実現損失合計	(118,358)	(0.03)
	公正価値 米ドル	純資産 比率(%)
損益を通じて公正価値評価される金融負債合計	(118,358)	(0.03)
損益を通じて公正価値評価される純金融資産	411,071,413	99.03
その他純資産	4,035,743	0.97
償還可能参加型持分の所有者に帰属する純資産	415,107,156	100.00

# マネーインカム・マザーファンド

第12期（2019年4月16日から2020年4月13日まで）

信託期間	無期限（設定日：2008年3月31日）
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) 無担保コール翌日物		債券組入率 比	純資産額
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
	円	%		%	%	百万円
8期（2016年4月13日）	10,124	0.0	101.01	0.1	64.1	1,306
9期（2017年4月13日）	10,115	△0.1	100.97	△0.0	76.0	1,323
10期（2018年4月13日）	10,108	△0.1	100.92	△0.0	75.0	2,421
11期（2019年4月15日）	10,101	△0.1	100.85	△0.1	72.5	2,495
12期（2020年4月13日）	10,093	△0.1	100.80	△0.0	70.2	2,641

※無担保コール翌日物は、設定時を100として日々の無担保コール翌日物で運用したと仮定した当社計算値です。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

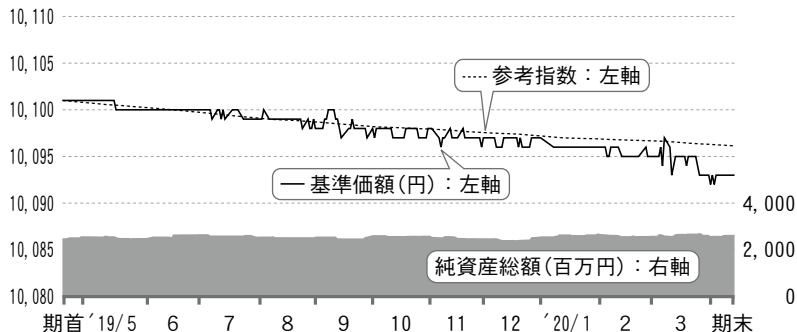
年月日	基準価額		(参考指数) 無担保コール翌日物		債券組入率 比
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2019年4月15日	円	%		%	%
4月末	10,101	—	100.85	—	72.5
5月末	10,101	0.0	100.85	△0.0	70.1
6月末	10,100	△0.0	100.85	△0.0	71.9
7月末	10,100	△0.0	100.84	△0.0	70.2
8月末	10,099	△0.0	100.83	△0.0	73.0
9月末	10,098	△0.0	100.83	△0.0	70.8
10月末	10,098	△0.0	100.83	△0.0	65.3
11月末	10,098	△0.0	100.82	△0.0	69.7
12月末	10,097	△0.0	100.82	△0.0	68.8
2020年1月末	10,097	△0.0	100.82	△0.0	70.5
2月末	10,096	△0.0	100.81	△0.0	71.7
3月末	10,095	△0.1	100.81	△0.0	73.7
3月末	10,092	△0.1	100.81	△0.0	71.8
(期末) 2020年4月13日	円	%		%	%
	10,093	△0.1	100.80	△0.0	70.2

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2019年4月16日から2020年4月13日まで）

### 基準価額等の推移



期首	10,101円
期末	10,093円
騰落率	-0.1%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、無担保コール翌日物です。

※無担保コール翌日物は、設定時を100として日々の無担保コール翌日物で運用したと仮定した当社計算値です。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2019年4月16日から2020年4月13日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

### 下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

当期の短期金利は小幅に上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。短期国債利回りは、一時的な需給要因から上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案しながら短期国債の買入れ額を調整したことから、概ねレンジ推移となりました。

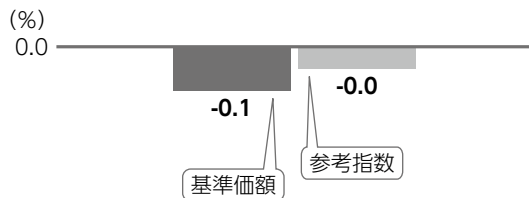
国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.190%に対し、期末は-0.152%と小幅に上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として無担保コール翌日物を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

-1.0

第12期

## 2 今後の運用方針

2%の物価安定目標が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	1円 (1)	0.011% (0.011)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	1	0.011	

期中の平均基準価額は10,097円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	特 殊 債 券	1,863,211	(1,796,600)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D		D C
		百万円	%			百万円	%	
公 社 債	百万円 1,863	百万円 100	% 5.4		百万円 -	百万円 -	% -	

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## マネーインカム・マザーファンド

### ■ 組入れ資産の明細 (2020年4月13日現在)

公社債

#### A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券（除く金融債）	1,844,000 (1,844,000)	1,854,685 (1,854,685)	70.2 (70.2)	— (—)	— (—)	— (—)	70.2 (70.2)
合 計	1,844,000 (1,844,000)	1,854,685 (1,854,685)	70.2 (70.2)	— (—)	— (—)	— (—)	70.2 (70.2)

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

#### B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特殊債券（除く金融債）	第14回 政府保証地方公共団体金融機構債券（6年）	0.199	200,000	200,082	2020/6/18
	第17回 政府保証地方公共団体金融機構債券	0.9	100,000	100,486	2020/10/21
	第57回 政府保証関西国際空港債券	1.2	100,000	100,825	2020/12/14
	第25回 政府保証株式会社日本政策投資銀行社債	0.147	100,000	100,109	2020/11/25
	第2回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	100,000	101,292	2020/12/27
	第9回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.9	200,000	203,670	2021/3/26
	第104回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	200,000	200,132	2020/4/30
	第112回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	300,000	301,011	2020/7/31
	第115回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	244,000	244,961	2020/8/31
	第126回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	100,000	100,980	2021/1/29
	第129回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	100,000	101,075	2021/2/26
	第208回 政府保証預金保険機構債	0.1	100,000	100,062	2020/10/6
合 計	計	—	1,844,000	1,854,685	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 投資信託財産の構成

(2020年4月13日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比	評 価 額	率
	千円		%	
公 社 債	1,854,685	70.2		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	787,280	29.8		
投 資 信 託 財 産 総 額	2,641,965	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月13日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,641,965,861円
コーポレート債等	780,346,222
公社債(評価額)	1,854,685,360
未収利息	5,508,528
前払費用	1,425,751
(B) 負 債	550,816
未払解約金	470,000
未払利息	867
その他未払費用	79,949
(C) 純資産総額(A-B)	2,641,415,045
元 本	2,617,198,028
次期繰越損益金	24,217,017
(D) 受益権総口数	2,617,198,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,093円

※当期における期首元本額2,470,784,621円、期中追加設定元本額1,387,344,474円、期中一部解約元本額1,240,931,067円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMAM・グローバルバランスファンド(機動的資産配分型)	13,868,252円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2020(4資産タイプ)	94,104,342円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2025(4資産タイプ)	75,050,091円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2030(4資産タイプ)	17,362,669円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2035(4資産タイプ)	22,920,681円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2040(4資産タイプ)	12,836,318円
三井住友・DCターゲットイヤーファンド2045(4資産タイプ)	27,309,935円
米国小型ハイクオリティファンド(毎月決算型)	99,128円
米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)	297,384円
SMAM・マネーインカムファンド<適格機関投資家限定>	782,308,395円
SMAM・バランス先物ファンドV A20<適格機関投資家限定>	468,868,961円
SMAM・FGマネーファンドV A<適格機関投資家限定>	1,102,171,872円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2019年4月16日 至2020年4月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	19,459,743円
受 取 利 息	19,914,514
支 払 利 息	△ 454,771
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△21,333,850
売 買 損	△21,333,850
(C) 信 託 報 酬 等	△ 274,866
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,148,973
(E) 前期繰越損益金	24,947,481
(F) 追加信託差損益金	13,468,754
(G) 解約差損益金	△12,050,245
(H) 計 (D+E+F+G)	24,217,017
次期繰越損益金(H)	24,217,017

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。